

《国際原子力機関（IAEA） 女川原子力発電所の耐震調査報告書が公開されました》

4月8日、国際原子力機関（IAEA）が「女川原子力発電所耐震調査」の最終報告書を公開しました。

最終報告書では「**女川原子力発電所は、東日本大震災による地震の規模、揺れの大きさ、長い継続時間にもかかわらず“驚くほど損傷を受けていない”**」と報告されています。

今回の調査は、東日本大震災で震源に最も近く非常に大きい揺れと津波に襲われながらも安全に停止した女川原子力発電所における地震等の影響に関するデータを収集し、原子力発電所の安全性向上に向けて、IAEA加盟国間で共有・活用することを目的に行われたものです。

当発電所では、現在、震災後の設備復旧工事のほか、耐震裕度向上工事やさらなる安全性向上対策に取り組んでいるところです。今回の報告内容も今後の発電所運営に活かしてまいります。



昨年7月30日から8月9日にかけて行われた IAEAによる調査の様相

《高台電源センターの運用を開始しました》

海拔60mの高台に電源車6台を配備した『高台電源センター』の運用を4月26日より開始しました。

当発電所では、緊急時の電源確保のため、これまで敷地内海拔52mの地点に大容量電源装置、同22mの予備変圧器エリアに電源車4台を配備し、緊急時には右図**青色のルート**により原子炉を冷却するために必要な設備へ電源を供給することとしていました。

今回、新たに右図**赤色のルート**を構築したことにより、**緊急時の電源供給の複数ルート化**が実現しました。また、高台電源センターでは、あらかじめ電源車と高圧電源盤との接続ケーブルを敷設しているため、接続作業に要する時間を短縮でき、より**迅速な電源供給**が可能となりました。

高台電源センターでの訓練の様相



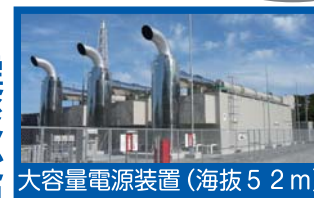
緊急時の電源確保イメージ

外部電源（送電線からの電気）、
所内電源（非常用ディーゼル発電機）とも
使用できない緊急時に原子炉を冷却する
ために必要な設備へ大容量電源装置や
高台電源センターから電力を供給します。



高台電源センター（海拔60m）

震災後追加した
電源ルート



大容量電源装置（海拔52m）



予備変圧器エリア（海拔22m）



電源車を2台
追加配備し
常駐場所を変更



今回新設した
電源ルート

原子炉を冷却する
ために必要な設備
非常用ディーゼル
発電機（8台）



外部電源
（5回線）

《当発電所に9人の新入社員が配属となりました》

平成25年度の新入社員9人が湧き立つ希望を胸に当発電所に配属となりました。

若さ溢れる柔軟な発想と何事にも果敢に挑む気概を持ち活躍してくれることを期待しています。

発電所、そして地域のこれからの担う人材としてしっかり育成してまいりますので、地域の一員としてよろしくお願いたします。



《放射線管理区域内での消防訓練を実施しました》

3月28日、放射線管理区域内での火災発生を想定した消防訓練を行いました。

当日は、発電所、構内協力企業から約50人が参加し、発電所員等で構成する自衛消防隊による初期消火活動や放射線管理区域内からの避難訓練を実施しました。



《発電所周辺道路の美化活動を行いました》

4月10日、春の全国交通安全運動期間にあわせ、発電所員と構内協力企業の社員約100人が発電所周辺道路の美化活動を実施しました。

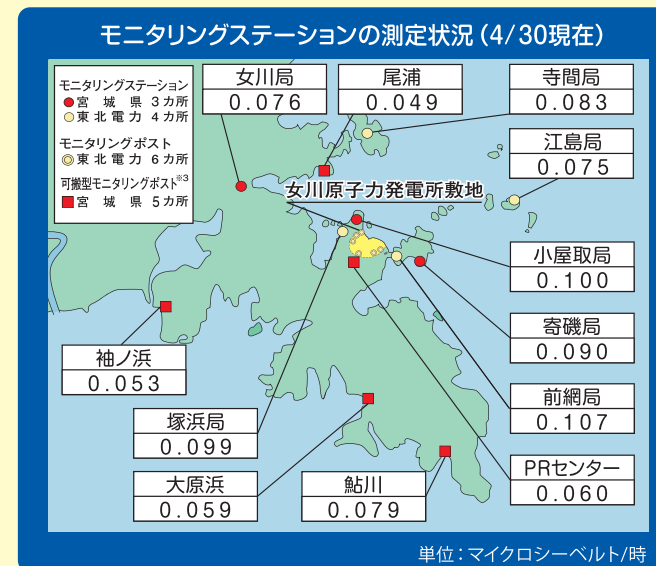
当日は、空き缶やビン、ペットボトルなどに加え、数日前に東北地方を通過した低気圧の影響により道路に散乱していた落ち葉や枝なども清掃し、回収したゴミは130袋を超えました。



《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.077マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

年	日	測定値
平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21※4
平成24年	11月1日	0.057~0.081
	12月1日	0.057~0.078
平成25年	1月1日	0.055~0.076
	2月1日	0.053~0.073
	3月1日	0.055~0.077
	4月1日	0.055~0.076
	4月30日	0.053~0.077

単位: マイクロシーベルト/時

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、至近6カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

女川原子力PRセンターからのお知らせ

「ローズガーデンフェア」開催!!

6月15日(土)から7月7日(日)まで、女川原子力PRセンターにて「ローズガーデンフェア」を開催します。

敷地内では、数十種類ものバラをご覧いただけますので、お誘いあわせの上ぜひお越しください。

女川原子力PRセンター(0225-53-3410)
開館時間/9:30~16:30
休館日/毎月第3月曜日

